



■希望にあふれた、新成人の門出

1月14日、すばるホールで、成人式が開催されました。本市では、1359人の若者が、晴れて成人の日を迎えました。式典では、多田市長が「思わぬ困難に直面しても、決して自分を見失わず、積極果敢に挑戦し続けてください」と新成人を激励。また、新成人の代表が誓いの言葉を述べるなど、式典は厳粛な雰囲気で行われました。その後開催された「きらめき同窓会（交流会）」では、久しぶりに顔を合わせる同窓生との再会に喜び合い、近況報告や思い出話に花を咲かせていました。

※当日撮影した写真を差し上げます。希望される人は2月28日(木)までにトピッc(きらめき創造館)へお越しください。

■息を弾ませ限界に挑む

12月16日、第68回市民マラソン大会が開催されました。今回から新たに10歳一般女子の部が新設され、より参加者層が広がった本大会では、市内外から456人の選手が参加しました。

青空の下、選手たちはそれぞれのスタイルでゴールをめざして走り抜き、2つの部門では大会新記録が樹立されました。

各部門の上位者とそのタイムは、26ページに掲載しています。



写真とともに見る12月～1月のできごと



■新病院の本体工事に着工

1月11日、済生会富田林病院で、病院建て替えに伴う新病院建設工事の起工式が執り行われました。

当日は、関係者が列席し、工事の無事と安全が祈願されました。

新病院の完成は2年後の秋を予定しており、完成後は、これまで以上に利用しやすく快適な医療空間として、地域医療への貢献が期待されます。

■お鍋の匂いと湯気に誘われて

1月12日、じないまち四季物語2019「冬」～新春・初鍋めぐり～が開催されました。

けんちん汁や伊勢エビ汁、ぜんざいなど20種類以上の鍋料理が販売され、お年玉袋を片手に鍋料理の食べ歩きを楽しむ子どもたちや英気を養おうと今年の干支「亥」の入ったぼたん鍋を頼める人など、富田林寺内町周辺は、お鍋のおいしいそうな匂いと湯気に誘われた多くの来場者でにぎわっていました。



■防災・防火意識を高めて

1月13日、石川河川敷川西グラウンドで、新春恒例の消防出初式が開催されました。

当日は、消防団や婦人防火クラブ、地域の自主防災会の皆さんの規律正しい入場行進で式が始まりました。

市内消防分団の消防車両や市消防本部のはしご車も参加し、フィナーレとなる一斉放水では、何重もの水のアーチができ、会場からは歓声が上がっていました。

■赤十字救援車を寄贈いただきました

12月26日、日本赤十字社の富田林市地区より、赤十字救援車が寄贈されました。当日の寄贈式では、日赤を代表して、赤十字奉仕団の花岡 義弘さんより多田市長に車両の目録が贈られました。

赤十字救援車は、リフトアップシートの福祉車両となっており、従来の赤十字災害救護活動だけではなく、災害時に自力での避難が困難な高齢者などの避難支援に使用するなど、災害時の後方支援での活用も期待されます。

